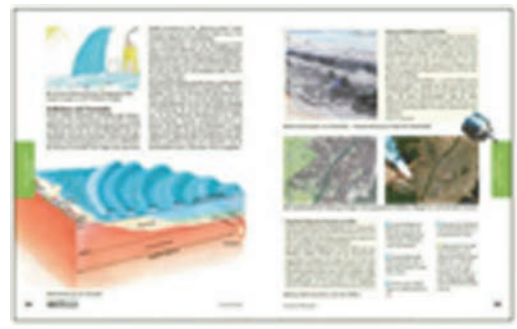


シリーズ「国土教育」 ドイツの地理教科書に描かれている日本のすがた



地震と津波 (Westermann 社)



日本 - 空間不足は発明の母 (Klett 社)

わが国の国土の自然条件や社会条件を学ぶ上で、海外の学校教育で「日本」のことをどのように教えているかを知ることは重要です。今回はドイツの地理教科書で日本がどのように描かれているかを紹介します。

東日本大震災を題材とした「地震・津波」学習

文化連邦主義をとるドイツは、各州が独自の教育政策を実施しているため、学校制度・教育課程・教科書制度に違いが見られます。多くの州で「教科書の貸与制」が採用されており、1冊の教科書が何年も使用されています。

首都・ベルリンのギムナジウム(日本の中高一貫校)用地理教科書「Diercke Geografie - Aktuelle Ausgabe Berlin」(Aktuelle Ausgabe Berlin) (Westermann 社: 2011年3年版)では、2011年3月に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)をケーススタディ対象として、地震による津波発生メカニズム、津波現象の特徴、津波被害の甚大さを学習します。教科書の説明資料では、宮城県の5歳の子どもが描いた津波の絵、津波の発生メカニ

地震大国「日本」と防災対策

ズムを説明する図、福島県内の被災状況(災害当日のプレスリリースと写真)、津波被害発生前後の衛星画像(宮城県名取市閑上地区)、震災後の福島原子力発電所(ニュース報道)といった東日本大震災に関連するさまざまな素材が用いられています。

ドイツ国内第1位の人口と人口密度を有するNRW州のギムナジウム用「地理」教科書「TERRA Erdkunde für Nordrhein-Westfalen - Ausgabe für Gymnasien」(Klett 社: 2007年版)では、兵庫県南部地震で倒壊した阪神高速道路の写真、地震発生時(1995年1月17日早朝)の神戸在住の女性のレポート、地震観測装置の写真などが展開されています。

空間不足は発明の母

NRW州用「地理」教科書

想定した防災訓練が実施されています。沿岸部では、津波を想定した高台への避難訓練も実施されます。地震発生時には、火災による被害が大きな課題のため、東京では街の各所に消火栓が設置され、家庭でも消火器の設置が推奨されています。東京では、地震の揺れによって架空電線が切れて落下する恐れもあるため、住民は地震から自らの身を守らなければなりません。

れています。防災対策にフォーカスが当てられ、興味深い説明がなされています。1923年の大地震(関東大震災)をきっかけに、日本では毎年9月1日、学校や職場で、大規模な地震を

自然災害大国、狭い国土を進化させてきた国「日本」

『空間不足は発明の母』というタイトルで、日本の狭い国土(空間の不足)がさまざまな発明を生み出してきたことを紹介しています。国土面積の約80%が非居住地であることから、日本では太平洋岸のベルト地帯に人口・交通・産業が集中しています。特に東京・大阪・名古屋の三大都市圏には、総人口(1億2700万人)のほぼ半数が住んでいます。

このため日本は、沿岸部の埋立てで空間の不足を補ってきました。東京湾だけで280、全国で1000平方キロ以上の埋立地があります。埋立ての最大の問題は、海岸沖合人工島が外海との水循環を妨げてしまうことです。

【関西国際空港】

関西国際空港は完全24時間運用可能な国際空港で、大阪湾沖に新たに人工島を建設してその上に造られました。海上空港には、4キロの鉄道又は高速道路を使ってアクセスすることが可能です。

この巨大空港建設の背景には大阪、神戸、京都を含む関西都市圏の航空需要の拡大や、航空機騒音などの環境問題の顕在化がありました。関西国際空港は高度な技術力を駆使しており、地震、津波、台風等による被害を免れています。95年の神戸地震の際にも、94年9月の開港直後だったため、救援活動の窓口として機能しました。

【カプセルホテル】

信じがたいことですが日本には「カプセルホテル」と呼ぶ発明品があります。上下に積層された約2層×1・25層の非常に小さなカプセル空間(国土学アナリスト 森田康夫)

沈下し、施設の補修等にかんりの追加費用が生じました。2007年には第二滑走路がオープンしましたが、利用客数は少なく、06年に開港した神戸空港との競争が問題になっています。これ以外にも、日本の経済・産業の特徴や、日本人の価値観、日本の教育システムと職業観なども紹介されていますが、総じて言えばドイツでは、日本は自然災害リスクの大きい国、狭い国土(空間)を進化させ活用してきた国として、教えられているようです。

松波成行 皆さんは買い物をするとき、現金、クレジットカード、電子マネーのどれをお使いですか。クレジットカードや電子マネーは「キャッシュレス決済」の代表的な方法ですが、近年は第3の方法として「QRコード決済」が登用され始めました。QRコード決済は、自分のクレジットカード情報や電子マネー情報をQRに結びつけたスマートフォンなどのモバイル端末を使った決済です。モバイルにQRコード決済のアプリを導入するだけでよいので、専用の読み取り端末も不要です。前号で紹介した「自転車シェアサービス」であれば、

点描 道の駅

国道愛好家 松波成行 皆さんは買い物をするとき、現金、クレジットカード、電子マネーのどれをお使いですか。クレジットカードや電子マネーは「キャッシュレス決済」の代表的な方法ですが、近年は第3の方法として「QRコード決済」が登用され始めました。QRコード決済は、自分のクレジットカード情報や電子マネー情報をQRに結びつけたスマートフォンなどのモバイル端末を使った決済です。モバイルにQRコード決済のアプリを導入するだけでよいので、専用の読み取り端末も不要です。前号で紹介した「自転車シェアサービス」であれば、